

「福祉教育」の推進に向けた検討委員会 報告書(概要)

「福祉教育」の推進に向けた 検討委員会 報告書

全国社会福祉協議会
全国ボランティア・市民活動振興センター

当初5か年計画としていた「全国福祉教育推進員研修」が最終年を迎えたことから、これまでの振り返りを行うとともに、地域共生社会の実現をめざすうえでの福祉教育のあり方を今一度見直し、今後の福祉教育の推進に向けた検討を行うために設置した「『福祉教育』の推進に向けた検討委員会」の検討内容をまとめた。

検討委員会 委員

日本福祉大学 学長	原田 正樹 氏（委員長）
山梨県立大学 教授	高木 寛之 氏
東北福祉大学 准教授	大石 剛史 氏
滋賀県社会福祉協議会 副会長	谷口 郁美 氏
新潟市中央区社会福祉協議会 事務局長補佐	渡邊 雅弘 氏
有田市社会福祉協議会 事務係長	宮本 朋子 氏

報告書の構成

1. 社協の福祉教育推進の枠組み
2. この5年間の取り組みと成果
3. 全社協における今後の福祉教育推進体制

1. 社協の福祉教育推進の枠組み

社協における福祉教育の認識

- 多様な存在が地域生活課題・社会課題を理解し排除し合うことなく他者と共に在り続けるための主体形成、そして、他者に関わりながら自分を含むすべての人の命を尊重し「ふだんのくらしのしあわせ」を追求し行動できる主体形成を図る営みが、地域福祉を推進する社協における今日的な福祉教育に求められている。

共生の文化を創る福祉教育実践の整理

- 福祉教育は、講座や体験活動だけでなく、さまざまな事業や活動にその要素が含まれている。そして、そうしたあらゆる取り組みの土台には人権・平和があり、それらを学ぶことが、福祉教育の核となる。
- 今後、社協がめざす住民主体の地域づくりを展開していくためには、これまでの実践の蓄積と関係者との関係性を活かして、「地域を基盤とした福祉教育」を特に発展させたい一方、「学校を中心とした福祉教育」での取り組みも引き続き積極的に展開させつつ、「社会福祉専門教育」にも関与していくことが求められる。また、すべての領域に共通する福祉教育原理（福祉教育の基本となる価値や歴史、理論）についても、あらゆる福祉教育の根幹として引き続き大切にしていける必要がある。

福祉教育推進プラットフォームの整理

- 福祉教育推進プラットフォームは、福祉教育を推進していくにあたり、圏域の多様な社会資源を結集させ、それらの相乗効果により、新たな取り組みを生み出すために、圏域に共通の基盤づくりをすすめていこうとする仕組みをさす。
- 福祉教育推進プラットフォームは、目的に応じてつくられる。一つひとつの福祉教育実践を推進ならびに下支え・後押しするのが協同実践のプラットフォームであり、協同実践ならびに協同実践のプラットフォームを下支え・後押しするのが広域のプラットフォームの役割である。いずれのプラットフォームも、協同実践という手法で進めていくことに変わりはなく、多様な主体の参画により、豊かな実践をつくり出す基盤となるとともに、プラットフォームの活動自体が共生の文化を体現する場となることが理想である。

2. この5年間の取り組みと成果

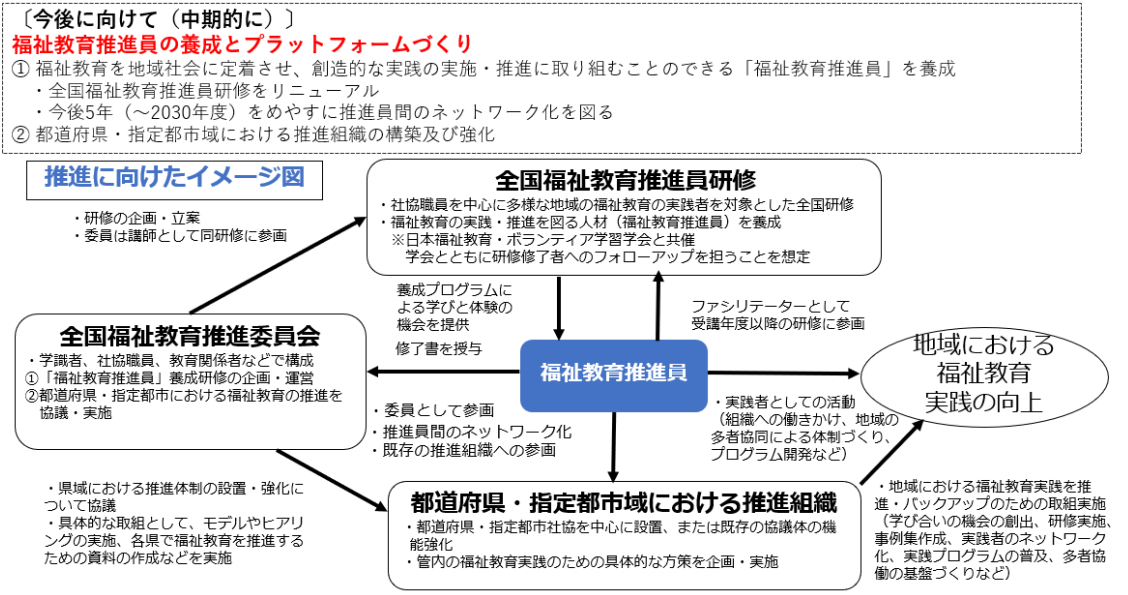
全国福祉教育推進員研修の成果

- 福祉教育の推進には人財とネットワークが必要という考えのもと、福祉教育推進員の養成とプラットフォームづくりに取り組んできた。
- 研修への参加のしやすさと研修後のネットワークをねらい、各県の会場で演習を開催した。地域性に応じて議論をすすめることで受講者それぞれの現実に応じた演習にするとともに、顔を合わせて想いや考えを共有することで組織を超えた相互の支援関係を築き各県のプラットフォームを発展させる機会とした。
- 全国福祉教育推進員研修のプログラムを通して、福祉教育の考え方やプログラムを企画するためのスキル、福祉教育を推進するプラットフォームの重要性と展開方法を学んだ福祉教育推進員が5年間で全国に約1,500名誕生した。

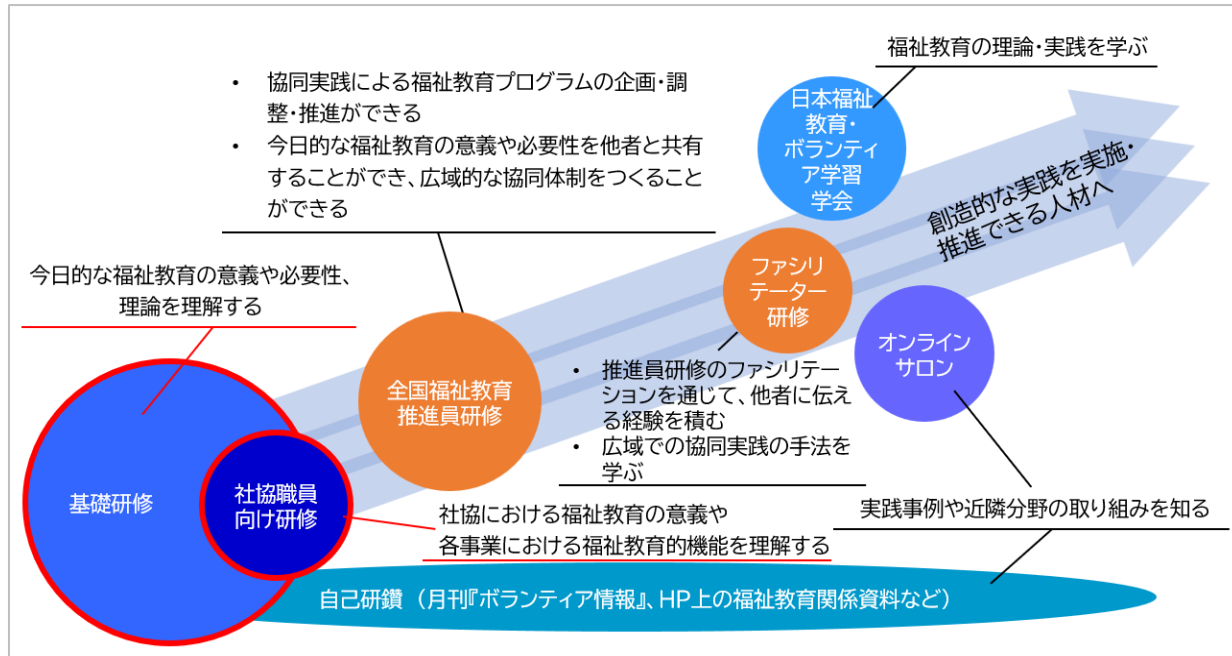
3. 全社協における今後の福祉教育推進体制

推進のイメージ(～2030年)

- 推進員を中心として各地で推進体制を構築する方向性を継続する。
- 全国福祉教育推進員研修を改良・継続し、地域での福祉教育実践のみならず、福祉教育推進プラットフォームでの学びをファシリテートできる推進員を育成していく。
- 各都道府県・指定都市社協に対して、その主体性を尊重しつつ福祉教育推進に向けて支援・協同する。



今後の研修体系



- これまで全国福祉教育推進員研修のオンデマンド動画として提供していた研修を「基礎研修」として再構成し、より多くの人が福祉教育の基礎を知ることのできる受講しやすい学びの機会とする。
- 新たに「社協職員向け研修」を設け、社協が福祉教育を行う意義等について、すべての社協職員に視聴していただき、社協全体として福祉教育をすすめていく機運を高める。
- 全国福祉教育推進員研修は、これまでのオンデマンド動画＋事前課題＋演習＋修了レポートという構成から、事前課題＋演習＋修了レポートという構成に変更する。
- 質の高い全国福祉教育推進員研修の実施をめざして、従来通り、ファシリテーター研修を実施する。
- フォローアップの機会として、①全社協主催のオンラインサロン、②日本福祉教育・ボランティア学習学会大会等への参加を引き続き推奨する。

全国福祉教育推進員研修 変わります！

2026年度(2025年度と同じ内容で実施)

- オンデマンド配信（講義・行政説明・実践報告）
 - 演習（各県ごとの集合ライブ研修）
- ※ファシリテーター研修、フォローアップを実施

2027年度～（内容をリニューアル）

- オンデマンド配信（講義・行政説明・実践報告）⇒基礎研修として分離
- 演習⇒全国福祉教育推進員研修として実施
- ※【新設】社協職員向け研修
- ※【継続】ファシリテーター研修、フォローアップ